

第4次総合計画進捗評価 総評

湯梨浜町長 宮脇 正道 様

令和5年3月29日に湯梨浜町総合計画評価委員会を開催し、第4次総合計画における令和3年度の進捗状況について審議しましたので、下記のとおり総評します。

KGI（重要目標成果指標）の達成に向けて、PDCAサイクルの有効的な活用を図り、本計画の目指す「住みやすく 魅力と活気あふれる 愛のまち」の実現に向けて、計画を着実に推進されるよう要望いたします。

記

1. 総評

（1）本委員会の時期は前年度の振り返りを行い、次に向けてのアクションにつなげていくものである。令和4年度の進捗評価は早い時期に開催してください。

（2）総じて、担当課による自己評価が控えめな結果となっていた。評価を上げた方がいいKGIは以下のとおりである。

KGI 16 農業後継者の育成 担当課評価 DをCへ

KGI 23 テレワークの導入推進 担当課評価 BをAへ

（3）KGI 37「小中学校のICT環境の整備」「実物投影機の設置（中学校）」においては現有の台数で充足しており、整備を今後進めないため、E評価とされていたが、適切ではないと考える。今後評価しない、あるいは別の指標に見直すことなども含めて、評価結果を見直されたい。

（4）KGI 9「美しい自然環境の保全」「東郷池の水質改善（COD、全窒素、全リン）」については目標に対し、高い結果を得られているが、達成率が100%以下となっているため、達成率の計算方法について見直されたい。

※ この項目は、意見を踏まえ、達成率を100%へと見直しました。

（5）指標によっては単年度で評価できるもの、経年変化の状況を見て、3年に1度などの一定の期間で評価すべきものがある。指標によってふさわしい評価の方法が異なると思われるため、整理を行い、各課に周知されたい。

- (6) 指標に団体の設置数を設けているものがあるが、団体を単に設けても、実際に機能していない場合は目標を達成しているとは言い難い。また団体を設置しなくても、別の有効的な手段が講じられている場合もあり、組織機能の有効性などを評価する視点も必要と考える。
- (7) 今回は全課の事業評価説明を企画課が一括して行ったが、本来は全課が出席されて、説明を行う方がいいと思われるので、次年度以降の会の進行についても検討されたい。
- (8) 「今後の取り組み」については、次へのアクションにつなげるため、課題分析を的確にし、それを踏まえての今後の取り組みを明確に書かれない。
- (9) 湯梨浜町SDGsローカル指標の指標32「海洋ごみ量（漂着物ごみ量）」については、令和7年末の指標値を8,000kg以下とされているが、他所から漂着するごみでもあり、本町だけの努力で達成、又はコントロールできる指標ではない。また数値の考え方として、ゴミ処理量が多ければ海洋がきれいになるという見方もできるため、指標自体の見直しも検討されたい。

令和5年3月31日

湯梨浜町総合計画評価委員会
会 長 山田 修平